

「館山市行財政改革プラン」平成21年度の取組状況一覧

【平成21年度の取組 行財政改革効果】

平成21年度の取組内容に関して、行財政改革の目指す効果として「財政効果額」のほか、「事務の効率化」及び「行政サービスの向上等」の指標を設定。

○「事務の効率化」

- 0 → 無関係・・・26件（81件中） 32.1%
- 1 → 事務の効率化を図る取組であるが、その効果が現れていない取組・・・3件（81件中） 3.7%
- 2 → 事務の効率化を図る取組であるが、その効果が現れていない取組（計画に計上済み）・・・2件（81件中） 2.5%
- 3 → 事務が効率化した・・・6件（81件中） 7.4%
- 4 → 大いに事務が効率化した・・・0件（81件中） 0.0%
- → 計画達成済みの取組等・・・44件（81件中） 54.3%

○「行政サービスの向上等」

- 0 → 無関係・・・20件（81件中） 24.7%
- 1 → 行政サービス（行政事務）の向上を図る取組であるが、その効果が現れていない取組・・・3件（81件中） 3.7%
- 2 → 行政サービス（行政事務）の向上を図る取組であるが、その効果が現れていない取組（計画に計上済み）・・・6件（81件中） 7.4%
- 3 → 行政サービス（行政事務）が向上した・・・8件（81件中） 9.9%
- 4 → 大いに行政サービス（行政事務）が向上した・・・0件（81件中） 0.0%
- → 計画達成済みの取組等・・・44件（81件中） 54.3%

○「財政効果額の区分」

平成21年度の財政効果額を規模に応じて区分。

- 0 → 財政効果額とは無関係、又は、不確実・・・28件（81件中） 34.5%
- 1 → 財政効果のある取組であるが、その効果が現れていない取組・・・0件（81件中） 0.0%
- 2 → 財政効果のある取組であるが、その効果が現れていない取組（計画に計上済み）・・・2件（81件中） 2.5%
- 3 → 100万円未満・・・2件（81件中） 2.5%
- 4 → 100万円以上1,000万円未満・・・2件（81件中） 2.5%
- 5 → 1,000万円以上・・・3件（81件中） 3.7%
- → 計画達成済みの取組等・・・44件（81件中） 54.3%

○「財政効果額の達成度」

目標の財政効果額に対する平成21年度の財政効果額の達成割合。

- ・実績額÷計画額（パーセント）

「館山市行財政改革プラン」平成21年度の取組状況一覧

| 課名 | No | 実施計画 | | 平成21年度の取組 | | | | | | | | 財政効果額 (単年度) の合計 ※5カ年 (H17~ H21) 合計 | 財政効果額 (累積) | |
|-------|----|--------------------|---|---|--|--|--|----|-----------|-----|---------------------|---|---------------|-----|
| | | 実施計画名 | 取組内容 | 取組成果 | 行財政改革効果 | | | | 財政効果額(千円) | | | | | |
| | | | | | 「事務 の効率 化」 (5段 階評価 0~4) | 「行政 サービ スの向 上等」 (5段 階評価 0~4) | 「財政 効果額 の区 分」 (6区 分 0~5) | 計画 | 実績 | 増減額 | 「財政効 果額の達 成度」 | | | |
| 秘書広報課 | 1 | 市長交際費の公開 | 平成18年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | | | |
| 秘書広報課 | 2 | 広報送付経費の縮減 | 平成17年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | | 209 | 264 |
| 企画課 | 3 | 審議会等における女性委員登用率の向上 | 委員の任期が近づいている審議会等を対象に、任期満了2~3ヶ月前に、女性委員の登用を積極的に図るよう依頼した。 | 平成22年4月1日現在の審議会等における女性委員登用率は27.17%であり、平成21年度の24.29%と比較し、2.88%増加した。 | 0 | 1 | 0 | | | | | | | |
| 企画課 | 4 | 地方バス路線維持費補助金の見直し | 補助金は年々増加傾向にあり、この対策のため新たに3者(館山市・南房総市・事業者)での協議事項を定めた。 ・補助金に影響する大規模(30万円以上)な修繕や車輛の購入案件の事前協議の要請及び次年度の事業予測の提出など。 | 平成20年度に行ったダイヤ改正後も経常費用が増加しているが、これは燃料の高騰及び予備車輛購入の影響が大きい。 今後も運行事業者による乗降調査を実施するなど、検証し精査していく。 | 0 | 2 | 0 | | | | | | | |
| 企画課 | 5 | 広聴体制の充実 | 市民の意見を聞くため、専用の便箋と封筒を庁舎や地区公民館など市内16箇所へ配置し、気軽に投函できる体制(市長への手紙・メール)を引き続き行った。 また、要望のあった地区や団体においては、「市民の意見を聞く会」や各課関連団体との懇談会・意見交換会を開催した。 | 引き続き「市長への手紙・メール」、各種懇談会等を実施することで、市民の意見が直接入ってくるようになり、市民参加の市政運営が推進された。 【実績】 ・市長への手紙 39件 ・市長へのメール 51件 ・地区懇談会等 2地区 ・各種団体との懇談会 1団体 | 0 | 3 | 0 | | | | | | | |
| 企画課 | 6 | 一部事務組合の運営(広域：総務費) | 厳しい財政状況の中で、更なる負担金の削減を目的として、組合事務局に構成市町(館山市・鴨川市・南房総市・鋸南町)による負担金の圧縮・削減の要請を行った。 | 組合の議決・承認を経た予算・決算の結果、総務費については圧縮・削減には至らなかったが、負担金の8割を占める広域消防経費について、その削減を目的とした『安房郡市消防本部基本構想及び推進計画』が平成21年度に策定され、将来的な消防署所の適正配置を見据えた消防体制の見直しが実施される予定である。 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | |

| 課名 | No | 実施計画 | | 平成21年度の取組 | | | | | | | | 財政効果額 (単年度) の合計 ※5カ年 (H17~ H21) 合計 | 財政効果額 (累積) | |
|------------|------------|-------------------|--|--|----------|-------------|-----------|-----|-------------|---|--------|---|---------------|--|
| | | 実施計画名 | 取組内容 | 取組成果 | 行財政改革効果 | | | | | | | | | |
| | | | | | 「事務の効率化」 | | | | 「行政サービスの向上」 | | | | | |
| | | | | | 財政効果額の区分 | | | | 財政効果額の達成度 | | | | | |
| (5段階評価0~4) | (5段階評価0~4) | (6区分0~5) | 計画 | 実績 | 増減額 | 「財政効果額の達成度」 | 財政効果額(千円) | | | | | | | |
| 社会安全課 | 7 | 市民公益活動団体と行政との協働推進 | ・市ホームページで各市民公益活動団体の活動内容等を紹介するなど情報提供を行った。 ・広報紙にNPOについての情報を掲載した。 ・NPOが開催するイベントを後援した。 ・安房地域で行われた市民活動フェスタへの参加協力を行った。 ・国・県等からのNPOや市民公益活動団体への補助金等の案内や相談等を行った。 | NPOなどの市民公益活動団体の情報を市ホームページや広報紙などにより発信し、NPO活動の普及とPRを図った。 | 0 | 2 | 0 | | | | | | | |
| 社会安全課 | 8 | 行政事務委託料の見直し | 平成18年度に町内会連絡協議会と協議し、世帯割・均等割の見直しを平成19年度から平成23年度まで行うこととした。 【世帯割】平成19年度から平成23年度まで、毎年度40円ずつ削減。 平成18年度：960円(参考) 平成19年度：920円 平成20年度：880円 平成21年度：840円 平成22年度：800円 平成23年度：760円 【均等割】平成19年度以降4,500円から4,000円とする。 | 平成18年度 均等割 4,500円 世帯割 960円 平成19年度 均等割 4,000円(△500円) 世帯割 920円(△40円) 平成20年度 均等割 4,000円(0円) 世帯割 880円(△40円) 平成21年度 均等割 4,000円(0円) 世帯割 840円(△40円) ※平成23年度まで削減 | 0 | 0 | 3 | 797 | 804 | 7 | 100.9% | 2,489 | 2,489 | |
| 社会安全課 | 9 | 遠隔都市との防災相互応援体制の確立 | 平成20年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | | | |
| 社会安全課 | 10 | 一部事務組合の運営(広域：消防費) | 常備消防の消防力検討委員会や安房郡市消防本部基本構想等審議会において、消防力の現有配置及び組織体制の見直しを図り、効率的な運営を促した。 | 引き続き効率的な消防行政の確立を目指したが、単年度で実施することが難しく、長期的な改革に取り組んだ。 | 0 | 1 | 0 | | | | | | | |

| 課名 | No | 実施計画 | | 平成21年度の取組 | | | | | | | 財政効果額 (単年度) の合計 ※5カ年 (H17~ H21) 合計 | 財政効果額 (累積) | |
|-----|----|-----------------|---|---|--|--|--|---------|--------|-----------|---|---------------|---------------------|
| | | 実施計画名 | 取組内容 | 取組成果 | 「事務 の効率 化」 (5段 階評価 0~4) | 「行政 サービ スの向 上等」 (5段 階評価 0~4) | 行財政改革効果 財政効果額 (千円) | | | | | | |
| | | | | | | | 「財政 効果額 の区 分」 (6区 分 0~5) | 計画 | 実績 | 増減額 | | | 「財政効 果額の達 成度」 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 総務課 | 11 | 効率的な組織の形成 | 平成20年度組織を改編し、平成21年度組織とした。 【部課の再編】 ・H20年度：5部/7事務局等/22課3室/60グループ ・H21年度：5部/7事務局等/22課4室/61グループ 【組織のスリム化】 ・環境施設センターと収集センターを統合(環境センター) ・事業完了に伴う速やかな室の廃止(平成21年11月定額給付金室を廃止) 【政策課題への対応】 ・徴税対策の強化→総務部税務課内に納税推進室の設置(納税グループを収納管理グループ、納税推進グループに分け体制の強化) ・安房博物館移譲への対応→博物館に博物館分館グループの設置 | 平成21年度組織では、政策課題、新規事業に対応するため、納税推進室を設置し、徴税対策を強化が図られた。 また、博物館分館グループを設置し、旧安房博物館の円滑な移譲体制が図られた。 事業完了後速やかに室を廃止し、事務の効率化が図られた。 | 3 | 3 | 0 | | | | | | |
| 総務課 | 12 | 勤務時間の弾力的運用制度の導入 | 平成19年度に計画達成済み。 ※なお、平成21年10月1日から、勤務時間の割り振りの決裁区分を市長から総務部長に変更し(館山市事務決裁規程の一部改正)、手続きを簡素化した。 | — | — | — | | | | | | | |
| 総務課 | 13 | 適正な職員の定員管理 | 定年退職者等 29名 新規採用者等 25名(うち新採用20名) 計 △ 4名 | 前年度の職員数412名より4名少ない408名となり、行財政改革プランにおける目標数394名に及ばないものの、職員数の削減により、人件費の抑制が図られた。 | 0 | 0 | 5 | 157,101 | 33,074 | △ 124,027 | 21.1% | 429,957 | 429,957 |
| 総務課 | 14 | 人材の有効活用 | 平成20年度に庁内公募制度を導入実施したところ、公募業務3件、応募者1名であり、かつ、人事異動との関係で希望に沿った配置にはならなかった。 このため、平成21年度は実施しなかった。 | 特になし。 | 0 | 0 | 0 | | | | | | |

| 課名 | No | 実施計画 | | 平成21年度の取組 | | | | | | | 財政効果額 (単年度) の合計 ※5カ年 (H17~ H21) 合計 | 財政効果額 (累積) | | |
|-------|----|----------------------------------|---|---|------------------------|----------------------------|------------------------|-------------|----|----|---|---------------|--------|-------------|
| | | 実施計画名 | 取組内容 | 取組成果 | 行財政改革効果 | | | | 計画 | 実績 | | | 増減額 | 「財政効果額の達成度」 |
| | | | | | 「事務の効率化」 (5段階評価0~4) | 「行政サービスの向上等」 (5段階評価0~4) | 財政効果額の区分 | | | | | | | |
| | | | | | | | 「財政効果額の区分」 (6区分0~5) | 「財政効果額の達成度」 | | | | | | |
| 総務課 | 15 | 給与制度及び手当内容の見直し | 人事評価制度について、平成20年度に制度設計及び評価者研修を経て、職員説明会、評価者研修、被評価者研修などを実施し、平成21年10月1日から能力評価を試行した。 住居手当について、自宅分については人勤に基づくものであったが、全面廃止に向け組合交渉を行った。 | 平成21年度に試行したことで、人事評価制度導入に当たっての問題点が洗い出された。(次年度の試行に向け、問題点の改善を図った。) また、説明会を経たことにより、平成22年度からの全面試行が行えることとなった。 住居手当は、自宅分について、平成22年度から廃止することができた。 | 0 | 0 | 0 | | | | | 65,215 | 65,215 | |
| 総務課 | 16 | 時間外勤務の削減 | 平成19年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | 10,502 | 15,576 | |
| 総務課 | 17 | 「さわやか応接運動」の推進 | 各職場にさわやか応接運動のポスターを掲示するなど、さわやか応接の推進を図った。 | さわやか応接の推進が図られた。 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | |
| 総務課 | 18 | 非常勤特別職の報酬等の見直し | 平成18年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | 8,330 | 8,330 | |
| 総務課 | 19 | 人事給与状況の公開 | 平成18年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | | | |
| 総務課 | 20 | 給与の減額 (H17実施済) | 平成17年度に計画達成済み。 ※なお、館山市行財政改革方針に掲げる収支均衡を図るため、平成21年度において職員給与の削減を行った。(影響額は平成22年度から平成24年度まで) | — | — | — | | | | | | 41,421 | | |
| 総務課 | 21 | 昇給停止年齢の見直し (H17実施済) | 平成17年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | 3,900 | | |
| 総務課 | 22 | 特別職、一般職及び証人等の旅費、費用弁償の改正 (H17実施済) | 平成17年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | 3,163 | 3,163 | |
| 行革財政課 | 23 | 政策評価制度の活用 | 平成18年度に同名計画に統合。 | — | — | — | | | | | | | | |
| 行革財政課 | 24 | 公の施設への指定管理者制度導入 | 平成19年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | 470 | 470 | |

| 課名 | No | 実施計画 | | 平成21年度の取組 | | | | | | | | 財政効果額 (単年度) の合計 ※5カ年 (H17~ H21) 合計 | 財政効果額 (累積) | |
|-------|----|-------------------|---|---|----------------------------|--------------------------------|----------------------------|----|----|-----|-------------|---|---------------|--------|
| | | 実施計画名 | 取組内容 | 取組成果 | 行財政改革効果 | | | | | | 「財政効果額の達成度」 | | | |
| | | | | | 財政効果額 (千円) | | | 計画 | 実績 | 増減額 | | | | |
| | | | | | 「事務の効率化」 (5段階評価 0~4) | 「行政サービスの向上等」 (5段階評価 0~4) | 「財政効果額の区分」 (6区分 0~5) | | | | | | | |
| 行革財政課 | 25 | ABC分析による業務改善手順の確立 | 平成19年度に計画達成済み。 ※事務事業見直し(事務事業評価・外部評価)と併せて実施。 | — | — | — | | | | | | | | |
| 行革財政課 | 26 | 事務処理マニュアルの作成 | 平成19年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | | | |
| 行革財政課 | 27 | 各種業務の民間委託等の推進 | 平成18年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | | | |
| 行革財政課 | 28 | 各種団体の自主的な運営の推進 | 市が事務局業務を行っている各種団体について、引き続き市が行うべきかどうかを所管課の意見を踏まえ検討し、今後、事務局業務を移管すべき団体を明確にした。 | 【団体事務局の検討結果】 ・事務局を移管すべき団体=3団体 ・市が事務局業務を行うべき団体=20団体 今後、事務局を移管すべき団体については、所管部署が当該団体の実情・意向を踏まえ、自主運営に向けた協議を進めていく。 | 1 | 0 | 0 | | | | | | | |
| 行革財政課 | 29 | 政策評価制度の活用 | 平成21年度は、平成19、20年度に引き続き、職員以外の外部評価者(構想日本)による外部の視点から事務事業のあり方を議論する外部評価(事業仕分け)を実施した。 ・実施日:平成21年9月26日(土) ・対象事業:7事業 | 予算編成において外部評価の結果・意見について、可能なものは積極的に取り入れることとし、その具体化を図るため、外部評価で示された評価・意見に対する所管課の考えや対応等を整理した上で、外部評価結果に対する今後の対応等について、予算査定前に市長ヒアリングを実施し改善の方向性を決め、事務事業の見直しを進めた。 | 3 | 0 | 0 | | | | | | | |
| 行革財政課 | 30 | 補助金の見直し | 平成19年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | | 13,553 | 33,211 |
| 行革財政課 | 31 | 使用料・手数料の見直し | 平成19年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | | 24,297 | 68,550 |
| 行革財政課 | 32 | 財政状況の公開 | ・平成19年度決算を過去からの推移などとともに分かりやすく「館山市の台所事情」として作成しHPに公表した。 ・平成22年度新年度予算を家計簿にたとえた「館山市の家計簿」として作成しHPに公表した。 ・経常収支比率の悪化を市民に分かりやすく解説するため、広報に連載記事を掲載した。 | 専門的な知識や用語を理解する必要がある財政状況について、簡潔に市民に知らせることができた。 | 0 | 3 | 0 | | | | | | | |

| 課名 | No | 実施計画 | | 平成21年度の取組 | | | | | | | 財政効果額 (単年度) の合計 ※5カ年 (H17~ H21) 合計 | 財政効果額 (累積) | | |
|-----------|----|--------------|---|--|--|--|--|----|--------|--------|---|---------------|---------------------|---------|
| | | 実施計画名 | 取組内容 | 取組成果 | 行財政改革効果 | | | | | | | | | |
| | | | | | 財政効果額(千円) | | | | | | | | | |
| | | | | | 「事務 の効率 化」 (5段 階評価 0~4) | 「行政 サービ スの向 上等」 (5段 階評価 0~4) | 「財政 効果額 の区 分」 (6区 分 0~5) | 計画 | 実績 | 増減額 | | | 「財政効 果額の達 成度」 | |
| 管財契 約課 | 33 | 電子自治体の推進 | ・千葉県電子自治体共同運営協議会へ参加し、県及び参加希望市町村により運用される電子申請システム、電子調達システムについて情報を収集し、様々な状況等を検討した結果、平成23年度に次期システムが稼動する電子調達システムについて、平成25年度から利用することを決定した。 ・各課において電子情報担当者を選任し、庁内における行政情報ネットワーク・OA機器等の取り扱い方(簡易なトラブル・設定等への対応)及びホームページでの情報発信や電子メールなどの電子情報の取り扱いを指導・助言し、それらの利用促進を図った。また、各課業務の電子化等を推進していく上で重要となる情報セキュリティを向上させるため、職員研修として、地方自治情報センター(LASDEC)のeラーニングによる情報セキュリティ研修を希望者に受講させた。 | 職員の情報化・電子化に対する技術、また、情報セキュリティに対する意識が向上した。 | 3 | 2 | 0 | | | | | | | |
| 管財契 約課 | 34 | 情報処理業務の委託の推進 | 平成18年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | | △ 3,866 | △ 3,866 |
| 管財契 約課 | 35 | 契約内容・方法の見直し | ・800万円以上の設計工事費については、引き続き、より公共性・競争性の高い制限付一般競争入札を実施した。 ・公共工物品確法に基づき、談合等の不正防止、工事目的物の性能や品質確保及び向上、維持修繕費等の縮減を図るため、引き続き総合評価方式による入札を実施した。 | 発注基準の見直し等を行うことで、より公共性、競争性の高い入札方式に改善できた。 | 0 | 3 | 0 | | | | | | | |
| 管財契 約課 | 36 | 未利用市有地の売却等 | ・未利用市有地(館山駅西口地区)1区画256.57㎡を売却した。 ・当初売却予定地であった、副市長公舎(湊地区)については購入希望者がいなかったため平成22年度に売却する。 | 館山駅西口地区にある利用目的の決まっていない市有地を一般競争入札で売却したことによる収入増。 | 0 | 0 | 5 | | 12,746 | 12,746 | 皆増 | 347,336 | 12,746 | |
| 管財契 約課 | 37 | 大型バス運行業務の見直し | 大型バスの使用耐用年数を延長することを目指し、定期的な保守や早目の部品交換に努めた。 | 適正な大型バスの運行と、利用者の利便性向上につながった。 | 2 | 2 | 2 | | | | | | | |
| 管財契 約課 | 38 | 電話交換業務の見直し | 平成19年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | | 4,429 | 4,429 |

| 課名 | No | 実施計画 | | 平成21年度の取組 | | | | | | | | 財政効果額 (単年度) の合計 ※5カ年 (H17~ H21) 合計 | 財政効果額 (累積) |
|-----------|----|---------------------|---|---|--|--|--|--------|-------|----------|---------------------|---|---------------|
| | | 実施計画名 | 取組内容 | 取組成果 | 行財政改革効果 | | | | | | | | |
| | | | | | 「事務 の効率 化」 (5段 階評価 0~4) | 「行政 サービ スの向 上等」 (5段 階評価 0~4) | 財政効果額 (千円) | | | | 「財政効 果額の達 成度」 | | |
| | | | | | | | 「財政 効果額 の区 分」 (6区 分 0~5) | 計画 | 実績 | 増減額 | | | |
| 納税推 進室 | 39 | 市税等口座振替制度 の改善 | 平成18年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | 9 | 15 |
| 納税推 進室 | 40 | 市税収入の確保 | <p>【滞納処分（差押・参加差押含む。）】</p> <p>●156件 差押税額292,173,387円 換価額24,384,163円</p> <p>・不動産96件、預金（定期含む。）28件、生命保険8件、国税還付金11件、給与5件、売掛金5件、動産2件、債権1件</p> <p>【納税催告書（県との共同催告含む。）】</p> <p>●4回 18,633通（内1回 共同催告1、872通）</p> <p>【休日、夜間納税相談の実施】</p> <p>●休日相談10日、夜間納税相談28日</p> <p>【インターネット公売の実施】</p> <p>●計3回</p> <p>・動産10件（落札価格合計239,600円）、不動産2件（落札価格合計25,720,000円）</p> <p>※不動産のインターネット公売は館山市では初。</p> <p>～参考～</p> <p>●H20滞納処分（差押・参加差押含む。）44件、差押税額54,596,650円、換価額1,750,901円</p> <p>・不動産12件、預金10件、生命保険7件、国税還付金3件、給与2件、動産4件、共有配当金4件、出資金2件</p> | <p>平成21年度末での現年度分徴収率は、96.02%であり、前年度と比較すると0.03ポイントの上昇となっている。</p> <p>滞納繰越分の徴収率は、14.14%であり、前年度（12.95%）よりも1.19ポイント上昇した。</p> <p>また、滞納繰越分の収入済額は、前年度よりも1,700万円ほど増加した。</p> <p>これらは、積極的に差押に取り組んだことにより換価額が大幅に増加したこと、及び分納の履行が増加したことによる。</p> | 0 | 0 | 4 | 13,520 | 1,786 | △ 11,734 | 13.2% | 11,647 | 12,505 |
| 市民課 | 41 | 市民課窓口業務の一部委託 | 平成19年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | △ 2,191 | △ 4,721 |
| 市民課 | 42 | 市民案内業務委託の廃止（H17実施済） | 平成17年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | 2,268 | 442 |
| 健康課 | 43 | 各種検診内容の充実と負担の適正化 | 平成17年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | 10,932 | 10,932 |
| 健康課 | 44 | 健康教育における検査費用の実費徴収 | 平成17年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | 10 | |

| 課名 | No | 実施計画名 | 取組内容 | 取組成果 | 平成21年度の取組 | | | | | | | 財政効果額 (単年度) の合計 ※5カ年 (H17~ H21) 合計 | 財政効果額 (累積) |
|-----|----|------------------------|---|---|--|--|--|----|-----------|-----|---------------------|---|---------------|
| | | | | | 行財政改革効果 | | | | 財政効果額(千円) | | | | |
| | | | | | 「事務 の効率 化」 (5段 階評価 0~4) | 「行政 サービ スの向 上等」 (5段 階評価 0~4) | 「財政 効果額 の区 分」 (6区 分 0~5) | 計画 | 実績 | 増減額 | 「財政効 果額の達 成度」 | | |
| 健康課 | 45 | 千葉県市町村保健センター連絡協議会からの退会 | 平成17年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | 40 | 40 |
| 健康課 | 46 | 一部事務組合の運営(広域：保健衛生費) | 安房郡市広域市町村圏事務組合への負担金を精査して予算を執行した。 | 救急医療は必要なことであり、救急搬送件数や診療件数による負担割合及び均等割を負担金として支出することは、適正と考える。 | 0 | 0 | 0 | | | | | | |
| 福祉課 | 47 | 心身障害児助成金の廃止 | 平成18年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | 70 | 70 |
| 福祉課 | 48 | 交通遺児手当の廃止 | 平成17年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | 36 | 36 |
| 福祉課 | 49 | 一部事務組合の運営(広域：知的障害者施設費) | 負担金の積算について、安房郡市広域市町村圏事務組合の資料を精査の上、予算執行した。 | 平成18年度に、安房郡市広域市町村圏事務組合において、町村合併に伴う負担金の負担割合の見直しを行ったが、本負担金については、負担金の内容(起債の償還分)を踏まえ、従来とおりの割合としたことから、特筆すべき効果はなかったものの、今後も同様の取組みを継続していく必要がある。 | 0 | 0 | 0 | | | | | | |
| 福祉課 | 50 | 配食サービス事業の見直し | 平成18年度に計画達成済み。 ※利用者負担の見直しについては、非課税世帯の利用者が多いことから現在の利用者負担を維持することとしていたが、平成22年度予算編成の中で、一課一削事業として取り組んだ。 ※利用者やケアマネジャーへのアンケート調査により、利用者等の声を把握した上で、国の要綱が示すとおり、食材料費や調理費相当分を考慮した利用者負担額とした。 | ※平成22年7月配食分から、課税世帯の者は1食450円(非課税世帯及び生活保護世帯は1食300円で据置)に上げることとした。 | — | — | — | | | | | 13,795 | 9,349 |
| 福祉課 | 51 | 館山市高齢者単独福祉事業の見直し | 平成18年度に計画達成済み。 ※平成22年度予算編成において、敬老祝金の削減を行った。 | ※敬老祝金は、88歳(改正前5千円)、99歳(同7千円)を3千円に、100歳(同1万円)、101歳以上(同2万円)を5千円に見直した。 | — | — | — | | | | | 8,608 | 7,296 |

| 課名 | No | 実施計画 | | 平成21年度の取組 | | | | | | | 財政効果額 (単年度) の合計 ※5カ年 (H17~ H21) 合計 | 財政効果額 (累積) | | |
|-------|----|----------------------------|---|---|--|--|--|----|-----|-----|---|---------------|---------------------|--|
| | | 実施計画名 | 取組内容 | 取組成果 | 行財政改革効果 | | | | | | | | | |
| | | | | | 財政効果額(千円) | | | | | | | | | |
| | | | | | 「事務 の効率 化」 (5段 階評価 0~4) | 「行政 サービ スの向 上等」 (5段 階評価 0~4) | 「財政 効果額 の区 分」 (6区 分 0~5) | 計画 | 実績 | 増減額 | | | 「財政効 果額の達 成度」 | |
| こども課 | 52 | 幼稚園・保育園の見直し(民営化、統合、幼保一元化等) | 平成21年4月に房南こども園を開園させ、教育委員会とも連携しながら円滑な運営に努めた。 また、幼稚園。保育園といった特性の異なる両者を一元化する際、話し合いやアンケートの実施などを通じて保護者の意見を聞き、課題の把握と改善に努めた。 さらに、幼保一元化の鍵となる人材を育成するため、幼稚園教諭と保育園保育士の職員交流事業を実施した。 保育園の民営化については、平成21年度時点で受皿に関する意向確認を行なったが、市内の事業者の中には受皿となるものはなく、その後の状況の変化もない。 | 館山市で初めての試みである房南こども園に関しては、1年が経過し、事業のあり方などに若干の見直しが求められるものもあるが、運営の根本的な内容・方向性は次の幼保一元化の先導モデルとなりうるレベルに達したものとする。 また、幼保職員交流事業では幼児の教育・保育に携わるものとして幼稚園教諭・保育士の共通理解が深まり、今後、幼保一元化を推進する上で、人的要因による問題はないことも検証された。 ※園長・教頭体制を園長保育主任体制にした(H21→H22)。 ※正規職員を1名減(教頭職の削減)した。 | 0 | 3 | 0 | | | | | | | |
| 保険給付課 | 53 | 非常勤職員の積極的活用による経費削減 | 平成17年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | | | |
| 保険給付課 | 54 | 一部事務組合の運営(広域：老人福祉施設整備費) | 介護保険計画(第3期：平成18年度～平成20年度、第4期：平成21年度～平成23年度)においては、該当となるような老人福祉施設の建設がなかったため、取り組みなし。 | 平成21年度の事業実績(負担金)なし。 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | |
| 農水産課 | 55 | 花つみセンター管理運営業務の見直し | 委託先である安房広域福祉会と管理運営業務について協議を行った。 平成21年度より管理運営委託料50万円を無償としたが、体験農園施設の有効利用が図られており、現受託事業者は引き続き管理運営を行い、継続に至った。 | 観光及び福祉部門と今後の施設の利活用を継続して検討した。 | 1 | 0 | 3 | | 500 | 500 | 皆増 | 505 | 510 | |
| 農水産課 | 56 | 小規模土地改良事業補助金見直し | 平成17年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | 2,076 | | |
| 建設課 | 57 | 道路整備事業費の見直し | ・新たに出された要望箇所の現地調査を実施し、指標に基づき整備優先順位を決定した。 ・優先順位に従い整備を実施した。 | ・予算要求時の整備要求箇所の抽出が容易になった。 ・整備要望者に対し、整備見込み等の説明ができるようになった。 | 3 | 3 | 0 | | | | | | | |

| 課名 | No | 実施計画 | | 平成21年度の取組 | | | | | | | | 財政効果額 (単年度) の合計 ※5カ年 (H17~ H21) 合計 | 財政効果額 (累積) | |
|-----------|----|----------------------------|---|---|--|--|--|-------|---------|---------|---------------------|---|---------------|--|
| | | 実施計画名 | 取組内容 | 取組成果 | 行財政改革効果 | | | | | | | | | |
| | | | | | 財政効果額(千円) | | | | | | | | | |
| | | | | | 「事務 の効率 化」 (5段 階評価 0~4) | 「行政 サービ スの向 上等」 (5段 階評価 0~4) | 「財政 効果額 の区 分」 (6区 分 0~5) | 計画 | 実績 | 増減額 | 「財政効 果額の達 成度」 | | | |
| 都市計 画課 | 58 | 市営住宅の整理 | ①年度当初に戸別訪問し、用途廃止の進捗状況及び今後の見通しの説明を行うとともに、退去に向けた努力をお願いした。 ②市営住宅の空家状況を情報提供し、希望者に他の市営住宅を優先的に入居できるようにした。 ・市営住宅の空家状況を情報提供：計2回(5月・2月) ③上記の情報提供の文書を配布するとともに、戸別対応(電話・訪問)を実施した。 ・戸別対応：計6件 | 平成21年度に2戸の政策空家化が図られ、維持管理費の節減及び事務の軽減が図られた。 | 0 | 0 | 2 | △ 88 | △ 3,169 | △ 3,081 | - | △ 8,406 | △ 8,406 | |
| 下水道課 | 59 | 下水道使用料納入通知書の様式見直し | 平成17年度に計画達成済み。 | - | - | - | | | | | | 68 | 89 | |
| 下水道課 | 60 | 下水道接続率の向上 | 平成21年8月鏡ヶ浦クリーンセンター親子見学会等の接続率向上に向けての啓発や未接続家屋に対する戸別訪問を実施した。 | ・平成21年度末現在の接続率68.2% 2,724人(H22.3.31現在 接続住録人口) ÷3,992人(H17年度接続義務者数) = 0.682 | 0 | 3 | 4 | 1,480 | 1,658 | 178 | 112.0% | 15,420 | 18,418 | |
| 下水道課 | 61 | 一部事務組合の運営(三芳水道：下水道使用料検針事務) | 負担金(下水道使用料検針事務)の精査に努めた。 10月より下水道使用料収納業務の一環として民間委託した。 | 負担金(下水道使用料検針事務)が適正な額であるか精査し、業者への委託へ移行した。 | 2 | 2 | 0 | | | | | | | |
| 環境課 | 62 | 新たな資源回収システムの構築 | 可燃ごみ収集回数の変更のための基礎資料とするため、可燃ごみ収集に関する市民アンケート調査を行った。 | 可燃ごみ収集回数の変更について、市民アンケート調査の結果を取りまとめ分析することにより、今後の方向性を決定するための資料として活用する。 | 0 | 0 | 0 | | | | | △ 8,425 | △ 62,460 | |
| 環境課 | 63 | 粗大ごみの収集方法の見直し | 粗大ごみの有料化について検討を行った。 | 方向性が決定しておらず、成果は現れていない。 | 0 | 2 | 0 | | | | | | | |
| 環境センター | 64 | 清掃センター業務の委託 | 引き続き、焼却業務は直営で行っている。 | 特になし。 | 1 | 1 | 0 | | | | | | | |
| 環境課 | 65 | 公社の運営 | 環境保全公社事務局が、今後の経営方針や組織の方向性について理事会に諮り、方針や方向性を決定するための調整を行った。 | 今後の経営方針や組織の方向性について理事会に諮り、審議が継続中である。 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | |

| 課名 | No | 実施計画 | | 平成21年度の取組 | | | | | | | | 財政効果額 (単年度) の合計 ※5カ年 (H17~ H21) 合計 | 財政効果額 (累積) | |
|-------|----|---|--|--|--|--|--|----|--------|--------|---------------------|---|---------------|--|
| | | 実施計画名 | 取組内容 | 取組成果 | 行財政改革効果 | | | | | | | | | |
| | | | | | 「事務 の効率 化」 (5段 階評価 0~4) | 「行政 サービ スの向 上等」 (5段 階評価 0~4) | 財政効果額 (千円) | | | | 「財政効 果額の達 成度」 | | | |
| | | | | | | | 「財政 効果額 の区 分」 (6区 分 0~5) | 計画 | 実績 | 増減額 | | | | |
| 環境課 | 66 | 一部事務組合の運営 (広域：火葬場費、 粗大ごみ処理費 三 芳水道：補助金) | 運営の効率化・適正化による経費削減への協力を求めた。 | 三芳水道企業団補助金については、算定による補助金限度額が309,118千円のところ、企業団との協議により補助金を245,080千円に減額して交付した。結果、64,038千円を削減した。 | 3 | 0 | 5 | | 64,038 | 64,038 | 皆増 | 106,273 | 64,038 | |
| 会計局 | 67 | 会計課の窓口業務取扱内容の拡大 | 平成17年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | | | |
| 会計局 | 68 | 窓口業務の合理化 | 平成20年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | △ 3,812 | △ 2,046 | |
| 教育総務課 | 69 | 教育委員会会議録の公表 | 平成18年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | | | |
| 教育総務課 | 70 | 教育委員会交際費の公開 | 平成18年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | | | |
| 教育総務課 | 71 | 一部事務組合の運営 (給食：分担金) | ・効率的運営を引き続き要請。 ・解散に向けての協議を引き続き行った。 解散協議会幹事会...8回 解散協議会...1回 | 組合運営には可能な限りの効率化が図られているところである。 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | |
| 教育総務課 | 72 | ネットデイによる校内LANの構築 | ネットデイではなく、国の学校情報通信技術環境整備事業補助金を活用し、船形・西岬小学校及び房南中学校において、校内LANを整備した。 | 校内LANの整備が小・中学校全15校で完了した。 | 3 | 0 | 0 | | | | | 5,388 | 562 | |
| 教育総務課 | 73 | 幼稚園保育料の見直し | 平成18年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | 1,090 | 1,032 | |
| 教育総務課 | 74 | 幼稚園・保育園の見直し(民営化、統合、幼保一元化等) | 認定こども園(房南こども園)が平成21年4月に開園したのを受け、こども課と連携を密にしながら円滑な運営が図れるよう努めた。 幼稚園民営化については、平成20年度にニーズ調査(受け手の有無)を行ったが、前向きな回答が皆無であったため、今後の方向性について検討を行った。 | 認定こども園(房南こども園)は、館山市として初めての取り組みであった為、現場における混乱等も想定はされたが、現場・保護者・行政の3者で意見交換会や情報共有を図るなかで、円滑な園運営が行われた。 幼稚園の民営化(大規模園)については、受け手となる事業者(学校法人)がないため、実現は困難であると考え。今後は小学校の再編の動きと平行しながら、園の統廃合や幼保一元化の推進を前提に進めていきたい。 | 0 | 3 | 0 | | | | | | | |
| スポーツ課 | 75 | 体育施設の管理・運営の見直し | 平成18年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | | | |

| 課名 | No | 実施計画 | | 平成21年度の取組 | | | | | | | | 財政効果額 (単年度) の合計 ※5カ年 (H17~ H21) 合計 | 財政効果額 (累積) |
|------------------|----|----------------------|----------------|-----------|--|--|--|---|---------|---------|---------------------|---|---------------|
| | | 実施計画名 | 取組内容 | 取組成果 | 行財政改革効果 | | | | | | | | |
| | | | | | 「事務 の効率 化」 (5段 階評価 0~4) | 「行政 サービ スの向 上等」 (5段 階評価 0~4) | 財政効果額 (千円) | | | | 「財政効 果額の達 成度」 | | |
| | | | | | | | 「財政 効果額 の区 分」 (6区 分 0~5) | 計画 | 実績 | 増減額 | | | |
| 生涯学 習課 | 76 | フラメンコ事業の見直し | 平成20年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | 636 | 636 |
| 生涯学 習課 | 77 | 青少年育成館山市民会議事業の見直し | 平成18年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | 435 | 435 |
| 生涯学 習課 | 78 | NPO・市民・大学等との協働 | 平成19年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | 803 | |
| 生涯学 習課 | 79 | 地区社会教育指導員の廃止 | 平成19年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | 51 | 51 |
| 図書館 | 80 | カウンター業務及び移動図書館業務の見直し | 平成20年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | △ 1,618 | △ 1,503 |
| 農業委 員会事 務局 | 81 | 農業委員会会長交際費の公開 | 平成18年度に計画達成済み。 | — | — | — | | | | | | | |
| 計 (81件) | | | | | | 4: 0件 3: 6件 2: 2件 1: 3件 0: 26件 -: 44件 | 4: 0件 3: 8件 2: 6件 1: 3件 0: 20件 -: 44件 | 5: 3件 4: 2件 3: 2件 2: 2件 1: 0件 0: 28件 -: 44件 | 172,810 | 111,437 | △ 61,373 | 1,107,113 | 687,854 |